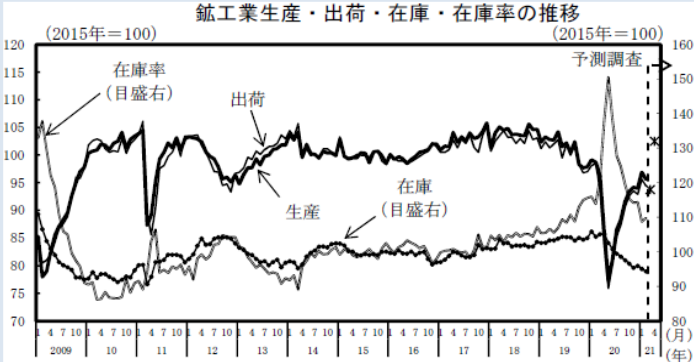
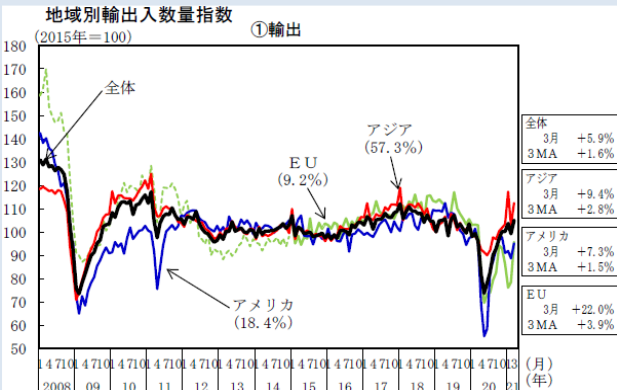
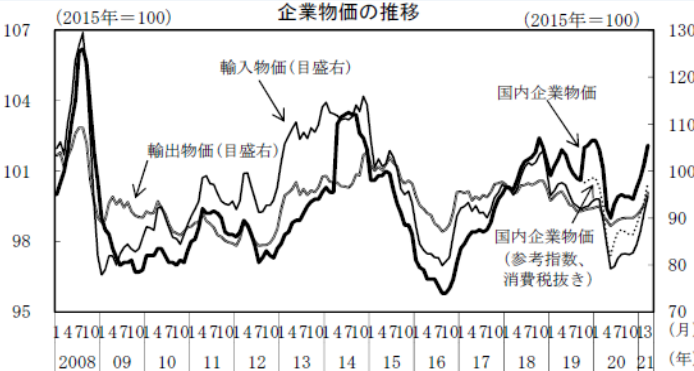
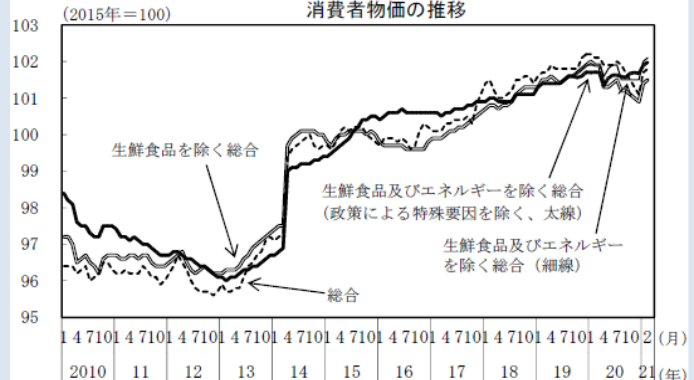


月例経済報告（2021年4月）

● 月例経済報告（4/22）

基調判断	(4月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。 (3月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。 感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
個人消費	(4月) このところ弱含んでいる。 消費総合指数と実質総雇用者所得の推移（2015年=100）。消費総合指数は1月▲3.0%（3MA ▲1.2%）、実質総雇用者所得は2月+0.7%（3MA +0.2%）。 (3月) このところ弱含んでいる。
設備投資	(4月) <u>持ち直している。</u> 製造業・非製造業の設備投資（名目額）。非製造業は右軸（兆円）で示され、製造業は左軸（兆円）で示され、ソフトウェア投資は目盛右で示される。 (3月) このところ持ち直しの動きがみられる。
住宅建設	(4月) おおむね横ばいとなっている。 住宅着工戸数（季節調整値）。2月 80.8 万戸、3MA 79.8 万戸。 (3月) おおむね横ばいとなっている。
雇用情勢	(4月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。 雇用者数、就業者数の推移。就業者数は2月：6,697万人、雇用者数は2月：6,001万人。 (3月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。

生産	(4月) 持ち直している。																									
	(3月) 持ち直している。																									
輸出	(4月) <u>増加テンポが緩やかに</u> なっている。	 <table><tr><td>全体</td><td>3月</td><td>+5.9%</td></tr><tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.6%</td></tr><tr><td>アジア</td><td>3月</td><td>+9.4%</td></tr><tr><td></td><td>3MA</td><td>+2.8%</td></tr><tr><td>アメリカ</td><td>3月</td><td>+7.3%</td></tr><tr><td></td><td>3MA</td><td>+1.5%</td></tr><tr><td>E U</td><td>3月</td><td>+22.0%</td></tr><tr><td></td><td>3MA</td><td>+3.9%</td></tr></table>	全体	3月	+5.9%		3MA	+1.6%	アジア	3月	+9.4%		3MA	+2.8%	アメリカ	3月	+7.3%		3MA	+1.5%	E U	3月	+22.0%		3MA	+3.9%
	全体		3月	+5.9%																						
	3MA	+1.6%																								
アジア	3月	+9.4%																								
	3MA	+2.8%																								
アメリカ	3月	+7.3%																								
	3MA	+1.5%																								
E U	3月	+22.0%																								
	3MA	+3.9%																								
国内企業物価	(4月) 緩やかに上昇している。																									
	(3月) 緩やかに上昇している。																									
消費者物価	(4月) 横ばいとなっている。																									
	(3月) 横ばいとなっている。																									
海外経済	(4月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。																									
	(3月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、持ち直しの動きが継続することが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。																									